

麻生区区民会議 第11回若い世代が住みやすいまちづくり部会 議事要旨

- 1 開催日時：平成27年10月23日（金）午後3時00分～午後5時00分
- 2 開催場所：麻生区役所第4会議室
- 3 出席者：〔専門部会委員〕石井委員、金光委員、白井委員、菅野委員、高橋委員、山田委員、
吉垣委員
（欠席）上野委員、梶委員、志村委員
〔事務局〕企画課 井上課長、白石担当係長、佐藤 〔コンサルタント〕中島
- 4 傍聴者 1名
- 5 議 事

（1）調査審議課題の検討について

①企画部会からの報告

菅野委員から、市民活動部会、フォーラムの検討について報告。市民活動部会の健康づくりのつどいでの調査の進め方について、ポストイットに貼るやり方で行う。フォーラムのスケジュールについて、本日の部会で内容を固め、11月の企画部会に諮り決定しないと、実施は難しい。

②麻生区の魅力のブランド化とPR

●子育てフェスタのアンケート結果について

コンサルから子育てフェスタのアンケート結果について説明。

【主な意見】

- ・結婚をきっかけにという内容が一番多いので、麻生区に新居を構えるのは難しいと言い切ることはできないのではないかと。
- ・このアンケート結果からは、こちらが考えていたよりも、麻生区に魅力を感じている事がわかったのではないかと。この中でさらにどこをよくしたいのかを検討しなければいけない。
- ・芸実・文化について、若い人たちにはなかなか浸透していない。若い人たちは芸術に触れる機会、主に時間がないのが原因ではないかと。
- ・麻生区に長く住んでいないと、芸実・文化の認識がないのではないかと。
- ・他の区のまちづくり協議会の人等から見ると、麻生区は芸術のまちとして認識されているが、一般の人から見ると、芸術のまちとしては認識されていない印象がある。
- ・芸術のまちの魅力に感じる項目について、他の区との比較ができるものはあるのか。
- ・緑が多いとか、治安がよい等といった内容の裏付けとなるデータを把握しておく必要がある。
- ・今、魅力のブランド化について特定をしつつあるが、それをどのようにするのか、どれを重点的に進めていくのか。
- ・若い世代が住みやすいまちとして、欠けている部分を埋めていく必要がある。
- ・次回から、魅力について、重点的に検討していく。

●大学へのヒアリング結果について

大学へのヒアリング結果について、山田委員、白井委員から報告。

【主な意見】

- ・昭和音楽大学と日本映画大学について、区役所なりのバックアップがあり、地元の理解、協力があって、シェアハウス等の事業が実施できるのではないかと。

- ・最近の若者は、ラインを使ってコミュニケーションを取るなど、昔とは変わってきている。
- ・映画大学は、映画を作る上で人と関わることが多く、コミュニケーション能力が必要であり、他の一般の学生とは気質も違うのではないかと。
- ・寮について、昔は4人部屋、2人部屋が普通であったが、最近は1人部屋が主流となっていて、学生の気質が変わってきていることがわかる。
- ・明治大学と和光大学について、6大学の連携があることから、麻生区の行事等に協力をしてもらっているが、学生が住むということになると、麻生区は圏外、あまり関わりがない。
- ・麻生区では、シェアハウスの需要がないことがわかったのではないかと。若者を呼び込むための魅力とはならないのではないかと。
- ・小田急グループが若者を呼び込むために、住み替えの支援を始めている。
- ・学生の時代から、麻生区が住み良いまちだとPRするのがよいのではないかと。
- ・空き家について、高齢化が進んでいく中で進行することから、学生に対して、若い世代に対して必要なことと、どのような機関との調整が必要なのかを検討していく必要がある。

③フォーラムについて

【主な意見】

- ・流山市の市長がテレビに出て魅力について語っていたので、その辺りを確認しておくといいのではないかと。
- ・開催日時や場所についての検討は、市民活動部会との調整が必要なので、企画部会に一任する方がよい。
- ・それぞれの部会で行いたい内容があり、互いのテーマがあまり被らないので、市民活動部会を応援する形で、若い世代部会を行わないという形でもよいのではないかと。
- ・本の著者を呼ぶのはどうなのか。→麻生区の地べたで活動を行っている園田教授を呼んだ方が、提言に繋がる内容を講演いただけるのではないかと。
- ・区民会議をPRするのも一つの目的であるので、各部会の活動内容を説明するのはどうか。
- ・園田先生を軸に、市民活動部会と若い世代部会の課題を基調講演として行ってもらうのはどうか。
- ・市民活動部会の教授と二人を呼んで行うかどうかについては、企画部会において調整を行ってはどうかと。

【決定事項】

- ・若い世代部会としては、各部会の課題や検討事項の内容を説明し、それに対して園田教授から講演をってもらう形で、企画部会に諮る。

(2) 次回について

- 魅力の特定、PR方法について重点的に検討する。
- 空き家の利活用について、結論を踏まえた検討を行う。

以 上